

**BASF**

We create chemistry

# 茶の総合殺菌剤。 主要病害をしっかりと防除！

果樹・茶用殺菌剤

赤葉枯病  
に  
適用拡大

# ナリア<sup>®</sup>WDG



輪斑病



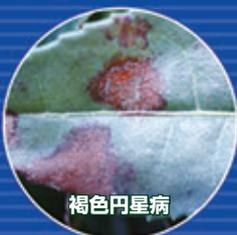
新梢枯死症



もち病



網もち病



褐色円星病



炭疽病

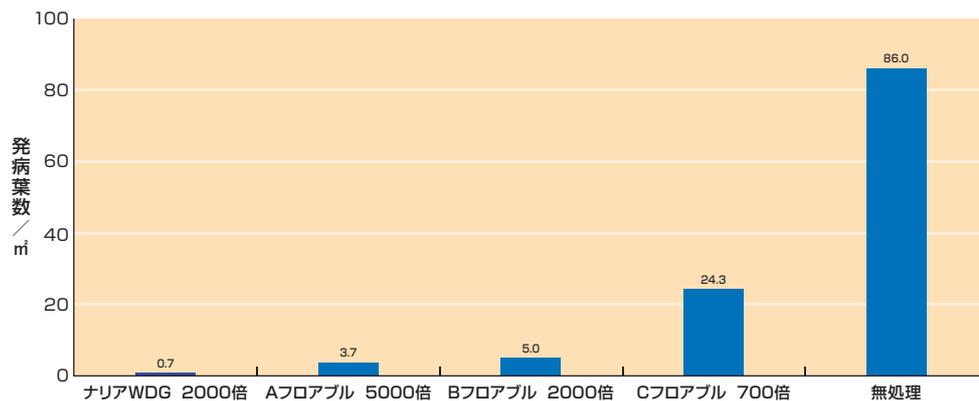


赤葉枯病



黒葉腐病

### 茶 炭疽病への効果



**【試験方法概略】**

試験年次:平成24年  
 試験場所:静岡県島田市BASF圃場  
 作物(品種):茶(やぶきた)  
 発病程度:少~中発生  
 散布日:6月10日、17日 0.5~1.0開葉期  
 調査日:6月27日(最終散布10日後)  
 調査方法:50×50cm枠を用い各区4カ所(1m<sup>2</sup>)の発病葉数を調査した。

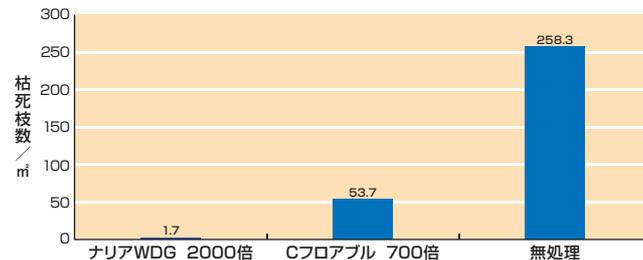
### 茶 輪斑病への効果



**【試験方法概略】**

試験年次:平成18年 試験場所:鹿児島県農業開発総合センター茶業部大隅分場  
 作物(品種):茶(やぶきた) 発病程度:甚発生(接種)  
 散布日:7月18日 三番茶摘採 調査日:8月1日(散布14日後)  
 調査方法:100×50cm枠を用い1区あたり2カ所(1m<sup>2</sup>)を調査した。

### 茶 新梢枯死症への効果



**【試験方法概略】**

試験年次:平成18年 試験場所:静岡県農林技術研究所茶業研究センター  
 作物(品種):茶(やぶきた) 発病程度:甚発生(接種)  
 散布日:7月28日 三番茶芽1~1.5開葉期および8月4日  
 調査日:9月27日(最終散布54日後)  
 調査方法:25×50cm枠を用い1区あたり8カ所(1m<sup>2</sup>)を調査した。

## 適用作物・病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピラクロストロピンを含む農薬の総使用回数	ボスカリドを含む農薬の総使用回数
茶	炭疽病、輪斑病、新梢枯死症、もち病 網もち病、褐色円星病、黒葉腐病、赤葉枯病	2000倍	200~400 ℓ/10a	摘採7日前まで	2回以内	散布	2回以内	2回以内

この他に、りんご、なし、おうとう、もも、ネクタリン、かき、大粒種ぶどう、かんきつ、小粒核果類、キウイフルーツ、ホップの登録があります。

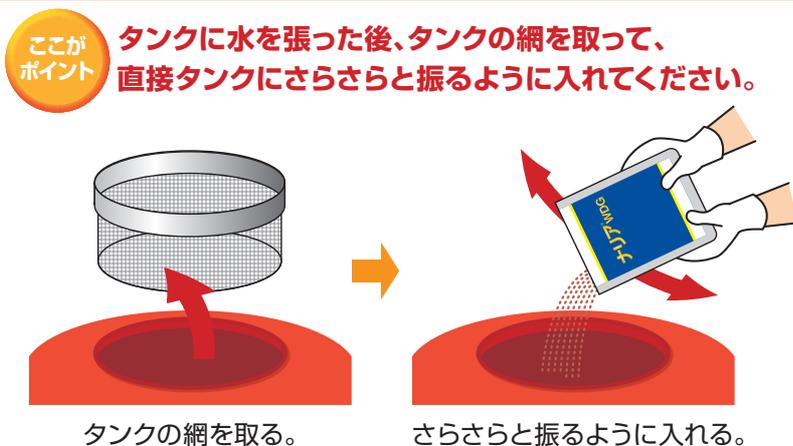
### ⚠️ 効果・薬害等の注意

- 散布液調製の際は、水をかきまぜながら本剤の所定量を徐々に加えてください。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用は避け、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
- なしに使用する場合、開花始めから落花20日頃までの散布は、葉に薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
- なし品種のル・レクチエには果実に薬害が生じるおそれがあるので、袋掛け後に使用してください。
- ぶどうに使用する場合、果粉溶脱のおそれがあるので、大豆大期以降の使用は注意してください。
- ぶどう品種のピオーネには葉および果実に、藤稜、サニールージュ、シャルドネには葉に薬害を生じるおそれがあるので、周辺にある場合にはかからないよう注意してください。
- かきに使用する場合、浸透性を高める効果のある展着剤を加用すると薬害が生じるおそれがあるのでさけてください。
- 蚕に対して影響があるので、付近に桑畑があるときはかからないように注意して散布してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

### 【小粒核果類について】

- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

### ナリアWDGの溶かし方



ナリアWDGは水中での分散性が優れているので、タンクの中でただちに分散し均一に溶け込みます。

このチラシの記載内容は2020年1月現在のものです。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 小児の手の届く所には置かないでください。
- 使用後の空容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。
- 防除日誌を記載しましょう。